

# 東京大学大学院理学系研究科附属植物園 日光植物園案内図

※利用規則や注意・禁止事項を守ってご利用ください。  
 ※園内では、野生のヘビの他、シカやサルも出没する場合があります。  
 また、ヤマビルの被害も出ていますので、散策の際は十分お気をつけください。

※東西約 700m、南北約 250m、面積約 11ha  
 ※正門から憾満ヶ淵まで約 20分、ミズバショウ池まで約 30分  
 ※園内一周約 1時間～1時間30分（紫色の大道一周時間概算です）



天皇陛下をはじめとした、皇族の方々が行き来された橋。この辺りは田母沢御用邸の敷地だった場所であり、当時の面影を残しています。



太平洋戦争中、田母沢御用邸に疎開されていた上皇陛下が、勉強部屋として使用していた建物。現在は、研究室として使用。



会津藩主であった松平容保が、東照宮へ宮司として着任した際の居所として建てられた建物。現在は入園者の休憩所として開放。（一部制限あり）



ブータン建築をモチーフとしたデザイン。1階は実験室および職員の居室、2階は外部研究者向けの居室や講義室を完備。



田母沢御用邸に暑を避けられた大正天皇が当園を散歩され、好んで立たれた丘に建立しました。



出入口は1箇所です



⑩ 正門

⑫ クマガイソウ群落

⑪ キレンゲショウマ群落

⑬ 大正天皇御由緒地 (記念碑)